tag Vol.121 2026/5

多賀城発で多賀城着。
ヒト・コト・モノを届けます。

アンケート
誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！
・自分たちの団体を取材してほしい
・こんな話題を取り上げてほしい
・ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている

飼い主のいない猫のために私たちができること

2026年3月22日、大代地区公民館で地域猫に関する啓発イベントが開催されました。人と動物がしあわせに共生できる社会を目指して行われているイベント「にゃっ展」の実行委員会と、野良猫の過酷な現実を知ったことをきっかけに活動を始めた多賀城の団体「たがねこクラブ」による共同開催です。保護猫の譲渡会、売り上げが活動資金や活動への寄付となる猫グッズ販売のほか、地域猫について学ぶ座談会が行われました。座談会では、野良猫を減らし、地域と猫が共生するために必要なことを考える機会として、町内会ぐるみで行っている好事例の紹介や、不妊去勢手術専門の獣医師から地域猫の実態や課題の共有があり、参加者からは「理解を広めることが大切だと感じた」「現状や課題を知ってもらうことから始めたい。伝えることならできる気がする」という声があがっていました。

「地域猫活動に関心を持つ人、関わる人を増やしたい」と話すたがねこクラブのメンバー。啓発活動を通して、「自分たちに何かできることはないか」という想いを実践につなげています。

⬆座談会では、大学生や保護猫を迎えたばかりという方など、幅広い世代が交流しました。

⬆保護猫活動に取り組む越路第一・第二町内会(仙台市)による「越路ねこ部」が、活動周知のために発行している「越路ねこ新聞」も展示されました。

⬆保護された猫を家族に迎えたいという来場者も多く集まりました。

地域猫とは

飼い主がいないものの、地域で管理されている猫のこと。
不妊手術、排泄物の管理や清掃など、野良猫を管理することによって自分たちの生活環境を守る地域猫活動は、環境省も推奨している取り組みです。

猫をとりまく状況

「飼い主のいない猫に関するアンケート調査」(環境省公表・2011年)によると、飼い主のいない猫に関する社会的問題に対し、「問題である」が41.5%、「どちらかといえば問題である」が50.2%という回答が寄せられています。また、自治体に寄せられる猫に関する苦情のうち、約半数が飼い主のいない猫に関する苦情が占め、その内容は、捨て猫・野良猫について、捕獲・保護の依頼、ふん尿・悪臭についてなど多岐にわたります。

団体情報

にゃっ展 ・ 人と動物がしあわせに共生できる社会を目指す実行委員会

ハンドメイドの猫雑貨などを扱うオンラインショップ「にゃん太通販」を2010年に開設。2014年より猫好き作家による作品展示販売会として「にゃっ展」をスタート。2025年は多賀城市文化センターを会場に、講演会や写真展などの啓発活動も行い、3日間で5,000人近くを集めました。

Instagram

たがねこクラブ

にゃっ展のボランティアに参加したことをきっかけに知り合った有志による団体。2025年9月には、たがさぽのフリースペースで「小さないのちの守り方」をテーマにした啓発展示会を実施。

＼子どもたちの笑顔のために／ おもちゃドクター奮闘中！

壊れたおもちゃに命を吹き込む「おもちゃ病院」では、
腕に覚えのあるおもちゃドクターたちがスキルを活かして活動しています。

物を大切にする心を伝えたい

「はまのおもちゃ病院」は、壊れたおもちゃの治療(修理)をしている七ヶ浜町のボランティア団体です。七ヶ浜町子育て支援センターを会場に開院するほか、町内の親子向けイベントにも参加しています。

治療の流れは、まず受付でのカウンセリング。カルテ(申込書)に壊れたおもちゃの状況などを記入して順番を待ちます。治療時間は30分から1時間ほど。状態によっては入院(一時預かり)する場合もあり、直ったら子育て支援センターで引き渡しになります。治療は無料ですが、部品代がかかる場合もあります。

治療の多くは、動かなくなって放置されていたおもちゃの持ち込みです。コンピューターの基板は治療ができないのでお断りしていますが、基板周辺の線が切れたものや電池が腐食したものは直しが可能です。ところが、この腐食が原因でさびてしまい、そのまま捨てられてしまうものも多いようです。院長の加藤益弘さんは、「おもちゃを捨てる人が多いので、物を大切にしてほしい」と言います。壊れたかなと思ったら、まず中身をチェックすることを勧め、「ある程度の修理はご家庭でもできるのでチャレンジしてほしい」と話します。

「ありがとう」の言葉をやりがいに

在籍するドクターは９人。そのうちの６人は七ヶ浜町社会福祉協議会が開催した「おもちゃドクター養成講座」の受講者です。「もともと電気や機械の仕事をしていた人や趣味が高じた人もいます。皆さん手先が器用です」と加藤さんは話します。

ドクターたちは、おもちゃを分解して故障の原因を探り、必要な処置を施します。時には、どう直したらいいのか頭を悩ますこともあります。「わからないときは、仲間と一緒に考えて知恵を出し合って直しています」と加藤さん。その一方で、「わからないのが面白い！修理中はめちゃくちゃ戦っています！」と楽しそうに手を動かすドクターの姿も。直せたときの喜びはひとしおのようです。

「直ったおもちゃを見た子どもたちの笑顔がうれしい。たまらない」と加藤さんは目を細めます。おもちゃを修理する喜びと子どもたちの「ありがとう」の言葉が、ドクターたちのモチベーションにつながっています。「今後はドクターの養成講座がまた開催できればと思っています。世代交代が必要ですからね」と先を見据えます。

おもちゃの修理を通して、子どもたちと親に「物を大切にする心」を育んでもらいたいと、はまのドクターたちは願っています。

⬆七ヶ浜町の「親子すまいるフェスタ2025」での開院。18個のおもちゃが持ち込まれました。

⬆直したおもちゃの引き渡し。みんな笑顔になります！

はまのおもちゃ病院 ドクター募集中！

一緒におもちゃを治療(修理)してくれる人を募集しています。お住まいの市町村は問いません。興味のある方は開院日に見学、または下記の団体ホームページや連絡先までご連絡ください。

次回定期開院日｜2026年6月12日(金) 10:00 ～ 12:00
会　場｜七ヶ浜町子育て支援センター(宮城郡七ヶ浜町東宮浜字東兼田35-10)
問合先｜はまのおもちゃ病院／七ヶ浜町社会福祉協議会　TEL 022-349-7781

ホームページ

tag・「tag(たっぐ)」には、多賀城(tagajo)」の頭文字3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。

ホームページ　ブログ

発行：多賀城市市民活動サポートセンター　〒985-0873 宮城県多賀城市中央２丁目 25-3　TEL：022-368-7745 ／ FAX：022-309-3706
発行日：2026 年 5 月 1日　編集：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター